



AUE News



2012年7月15日

第 44 号

編集・発行
愛知教育大学広報部会
TEL 0566-26-2738
FAX 0566-26-2500

目 次

- 行事予定(7月16-31日)
- トピックス
 - ・中野弘幸さんロンドン五輪出場決定
 - ・派遣留学説明会
 - ・生協でビアホール
 - ・連携公開講座「親子で学ぼう! 経済のしくみ」
 - ・第5回サイエンス・カフェ
 - ・しょくまる5展
 - ・成章高校、知立東高校が本学見学
 - ・夏期省エネポスターの応募作品展示
- ・生活科授業で金融教育についての講演会
- ・給与削減措置にかかわる労使合意調印式
- お知らせ・報告・投稿
 - ・本学修了生の若手陶芸家による作品展
 - ・「教員ができる医療的ケア」ハンドブック&DVD完成
 - ・卒業生の彫刻作品展示について
 - ・東海国立大学陸上競技大会などの結果報告
 - ・愛知教育大学国語教育講座のお知らせ
 - ・催しもの案内

行事予定(7/16-31)

- 17日(火) 役員部局長会議(13:00～ 学長室)
評価委員会(役員部局長会議終了後、学長室)
個人情報保護委員会(役員部局長会終了後、第三会議室)
- 18日(水) 教員人事委員会(13:30～ 第五会議室)
キャンパスクリーンデイ(15:30～ 大学構内)
- 24日(火) 役員会(14:00～ 学長室)
- 28日(土) オープンキャンパス(29日まで 大学構内)
- 31日(火) 東海地区国立大学法人事務連携協議会(第一会議室)

トピックス

中野弘幸さんロンドン五輪出場決定(7/3)



本学大学院生で陸上部所属の中野弘幸さん(保健体育専攻修士2年)がロンドンオリンピックの陸上競技・男子1600mリレー日本代表として出場することが7月3日(火)に正式に決まった。「ほっと、ひと安心。これで競技に向けて取り組める」(中野さん)と笑顔が弾けた。

中野さんは昨年のユニバーシアード競技大会(中国・深圳)男子1600mリレーで銀メダル、日本学生対校選手権(熊本)と国体(山口)の男子400m個人で優勝するなど目覚ましい活躍で注目を集め、今年5月には静岡国際陸上競技大会で五輪B標準を突破、6月にはオリンピック代表選考を兼ねた日本陸上競技選手権大会で男子400m個人2位となり、日本陸上競技連盟がロンドン五輪代表候補に選出。その後、オセアニア、ヨーロッパの両選手権大会の結果を受けて3日、日本

の世界順位 15 位が確定し、五輪出場要件である世界順位 16 位以内となったことから出場が決定した。国立大学からの陸上競技での出場は唯一。本学からの五輪出場は 1988 年ソウル大会の中森智佳子さん（水泳 200m、400m 自由形）と 2008 年北京大会の石黒由美子さん（シンクロナイズドスイミング団体）に次ぐ 3 人目の快挙となる。

4 日には記者会見が学長室で行われ、中野さんは報道陣に「自分で考える愛教大の自由な雰囲気が後押ししてくれ



た。オリンピックでは楽しんで走りたい」と抱負。同席した松田正久学長と陸上部の部旗を掲げて撮影に臨んだ。6 日は刈谷市役所に竹中良則市長を表敬訪問し、「決勝進出、入賞を目指して頑張ります」と健闘を誓った。

9 日には壮行会が大学会館で行われ、学生、教職員ら約 200 人を前に中野さんは、「精いっぱい頑張ります。皆さんもこの機



会に陸上競技全体に親しんでもらえたら」などとあいさつ。陸上部の後輩からは花束、本学教育研究基金と後援会、同窓会からはそれぞれ奨励金が贈られた。また、この日の夕方には、県庁に片桐正博副知事、野村道朗教育長を表敬訪問し、五輪出場決定を報告した。

中野さんは、11 日から山梨県富士吉田市で五輪前の強化合宿、21 日には東京で五輪結団式、23 日からはドイツで合宿し、ロンドンへ入る。五輪での競技は 8 月 9 日が予選、10 日（日本時間 11 日）が決勝の予定。本学では 9 日午後 7 時から第五会議室でパブリックビューイングを実施。テレビ観戦で決勝進出を応援する。

派遣留学説明会(7/4)

7 月 4 日(水)、国際交流センターは「派遣留学説明会」を実施、来年度の派遣留学を希望する学生約 20 人が参加しました。派遣留学とは、本学と交流協定を締結している海外の大学に、半年または 1 年間学生を派遣する制度で、毎年約 10 人がこの制度を利用して欧米やアジアの協定校へ留学しています。

説明会では、最初に国際交流センター長である宮川秀俊教授（技術教育）があいさつ。「専攻にかかわらず意欲的に海外留学を目指し、そこで得られる知識や体験を、将来教育現場や自身のキャリアに活かしてほしい」と励ましました。続いて、協定校から本学に留学している外国人留学生 7 人が出身国と大学の紹介を、派遣留学を経験した学生 3 人が自身の留学体験談の発表を行うと、参加者は資料を手に説明に耳を傾け、質疑応答の際には留学生活や留学要件等について質問が寄せられました。



現在、本学は 9 カ国 22 の大学と交流協定を締結し、教職員や学生の学術交流活動を積極的に奨励しています。国際交流センターでは、今後も情報提供や留学相談を通じ、本学学生の留学を推進していきます。（教育創造開発機構運営課 国際交流センター 宮内春菜）

生協でビアホール(7/5,6)

夏の恒例イベント、「ビアホール」が 7 月 5 日（木）、6 日（金）、午後 5 時～8 時、第二福利施設食堂UPで開催され、多くの来場者でにぎわった。

生協学生委員会が企画・運営したもので、入場料一人 650 円。今年は例年の食べ放題だけでな



ロクイズなども行われ、盛況だった。

く、ソフトドリンクも飲み放題、会場のUPも今年 4 月にリニューアルしたばかりとあって、魅力もアップ。会場は海をイメージした飾り付けがされ、同委員会のメンバーが浴衣姿で出迎え、受付やテーブルを回っての注文聞きなどに奮闘。7 月下旬に控えた教員採用試験や就活の激励・慰労、ゼミやクラブ・サークル、教職員の懇親などで、連日満席状態。教員採用試験を受験する学生への松田正久学長の応援メッセージ映像が流されたり、大学内の施設についてのクイズ、イント

連携公開講座「親子で学ぼう！経済のしくみ」(7/7)

7 月 7 日（土）午後、名古屋市生涯学習推進センターで、連携講座「親子で学ぼう！経済のしくみ」の 2 回目を開催、15 組 32 人の小学生の親子が参加しました。全国銀行協会企画部広報室の小倉康介氏による「銀行って何だろう？—世の中のお金の流れと銀行の役割—」をテーマにした金融の仕組みや銀行の役割についての講義と、ライフサイクルゲームによる体験型学習が行われました。

講義は小学生が興味を持てるように、イラストを用いた分かりやすい教材を用意して、お金の価値や銀行の役割について説明。また、自分がお金を貸すとしたらという設定で「友人」「会社員」「ギャンブラー」などの相手に対し、どのぐらいの利子を付けてお金を貸すかどうかを親子で考えました。子どもたちも真剣に取り組み、多様な意見が出ていました。

ライフサイクルゲームでは、結婚、子どもの誕生、住宅の購入といった人生の中で起こるさまざまな出来事について、お金の面を考える現実味のある人生ゲームで、親子ともども自分の実際の人生に照らして学ぶ内容でした。また、グループごとに楽しみながら学習できる、とてもよい教材でした。

子どもたちから「銀行はつぶれるの？」などといった疑問が出され、小学生のころから金融に触れることで早い時期から興味が生まれることを改めて感じました。

まとめとして、本学の水野英雄准教授（地域社会システム）から、2 回の講座を通じて学んだことを振り返り、特に親子で考えることの意義と、常に変化する社会や経済の状況に応じて今後も学んでいかなくてはならないことが述べられました。

参加者からは、経済について学ぶ機会は少なく、特に親子で考えることができたことは大変に意義があり、今後もこのような機会があればぜひ参加したいという感想もありました。

（現代学芸課程国際文化コース 4 年 鶴飼遙佳）



第 5 回サイエンス・カフェ(7/7)



七夕の 7 月 7 日（土）、「第 5 回サイエンス・カフェ 2012 年全国同時七夕講演会」が自然科学棟で開催された。

この催しは、2012 年度愛知教育大学科学ものづくり教育推進関連事業で、理科教育の澤武文研究室が中心になって実施しているもの。梅雨の最中とあって明け方までの雨も午後 4 時ごろから急速に回復し、開始時間にはほぼ快晴になった。

午後 6 時からの七夕講演会では高橋真聡教授（理科教育）が「天の川に潜むブラックホール」のタイトルで講演。夏の大三角からブラックホール候補のはくちょう座 X1 星について、さらに、ブラックホールはどんな天体でどのように観測されるのか、



と、子どもたちから多くの質問があり、和やかな雰囲気の中で講座が行われた。

お茶とお菓子でのカフェタイムでは、立食式の会場で多くの人が気軽に話せるスペースのため、講師の高橋教授に参加者が熱心に質問をする姿も見られた。

7時半過ぎ、屋上の天文台で観望会がスタート。40 cm反射望遠鏡と15 cm屈折望遠鏡で土星を観察した参加者からは「シールを張ったみたい」「図鑑そっくり」などと歓声が上がった。また、3D映像投影ソフトを使った「3D 宇宙の旅」の上映も行われ、家族連れなどが参加。学生の解説で太陽系や銀河系などの“旅”を楽しんだ。



しょくまる5展(7/9-20)

本学で生まれた食育キャラクター「しょくまるファイブ」を紹介する「しょくまる5展」が附属図書館アイ♥スペースで7月9日(月)から20日(金)まで開催中。

「しょくまるファイブ」は、子どもたちにバランスよく食べることの大切さを楽しみながら学んでもらおうと、2006年に本学の西村敬子教授(現・名誉教授、家政教育)の研究室で考案された。5人の勇者「ほねまる」「にくまる」「りきまる」「べじまる」「フルーツまる」が、「地球



球の皆を健康にすること」をミッションに、「五色がそろうとからだにいいね!」の合言葉とともに、食育基本法等で推進されている食育の中で普及が図られている「食事バランスガイド」の理解の手助けに「貢献」。絵本やオリジナルのグッズが制作され、2010年夏には大手コンビニ・スーパーなどでお弁当が販売され、2011年度には愛知県による事業で「食育劇」が幼稚園や小学校で上演されるなど、幅広い活動が展開されている。本学では2011年に登録商標を取得し、今後も多彩な活用が期待されている。

会場には、これまで作られた布バッグやTシャツなどのグッズの展示、今年度に発売になったエプロンなどを作成しながら縫製が学べる小学生向けの被服教材などの紹介があり、「しょくまるファイブ」の歩みをたどることができる。



成章高校、知立東高校が本学見学(7/9,13)

愛知県立成章高等学校(田原市)の2年生164人が7月9日(月)午後、本学を見学に訪れた。

第一会議室を会場に、本学の概要、入試、カリキュラムについて、それぞれ担当課の職員が約1時間説明し、学内の施設を見学。限られた時間だったが、4組に分かれ、図書館や第一共通棟、生協などの施設を見て、時には案内する職員に質問するなど、大学生活



のイメージを膨らませた様子だった。

＊

13 日午前には、県立知立東高校の保護者 60 人が来学。冒頭、松田正久学長が「本学からもっとも近い高校の一つが御校。教員を目指すなら、ぜひ本学に。教員以外の多様な職業人を養成する現代学芸課程もあり、入学してから進路を決めることもできます」などと概要を説明。また、同校卒業生で国際文化コースに在学する学生が本学の特徴や魅力を紹介すると、メモをとって熱心に聞き入る保護者の姿も見られた。続いて、図書館や第一共通棟、ガラス工房などを見学、生協で昼食をとった後、バスで次の訪問先へと移動した。



夏期省エネポスターの応募作品展示(7/10)



夏のエネルギー節約を呼び掛ける「夏期省エネポスター」募集への応募作品を紹介する展示が 7 月 10 日（火）から、附属図書館で始まった。

今回は昨年度に続く 2 回目。本学と附属学校園の生徒、教職員を対象に作品を募ったところ、小学生・中学生部門に 7 点、一般（高校生以上）部門に 8 点の作品が寄せられた。7 月 3 日の役員部局長会議で

厳正な審査を行い、最優秀・優秀作品を選考した。表彰式は 7 月 18 日（水）に学長室で行われる。

作品の展示は 31 日（火）までで、施設課担当者は「来場いただき、ぜひ夏期の『省エネ意識』の向上に役立ててください」と話している。



生活科授業で金融教育についての講演会(7/12)

7 月 12 日（木）に、日本銀行名古屋支店の塩谷匡介氏を招いて、「生活とお金—金融教育の意義について—」をテーマに講演会を本学で開催しました。生活科研究 AI（久野弘幸准教授、生活科教育）の授業で、「生きる力」としての金融知識を教える方法を学ぶために行いました。



講演会ではインフレーションの実例を用いて、金融の混乱が人々の生活に大きな影響を与えることから、正しい金融知識の教育を行うことの重要性を指摘。その上で、結婚や子育てなどのライフイベントにかかる具体的な費用の提示や金利の計算などで、考えながら金融や経済について学びました。まとめとして、金融教育は「生きる力」を養うものであることや、生活科で取り上げることで、子どもに小さいうちから教えることの必要性、金融広報中央委員会（愛称「知るぽろ

と」<http://www.shiruporuto.jp/>）の提供する教材が示されました。

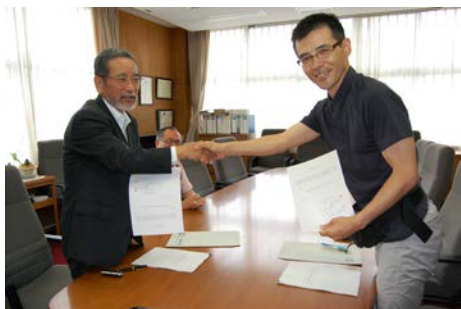
受講した学生は 1 年生で初めて聞く内容が多く、興味深く聞いていました。質疑応答では、お金や金融に関して多くの質問がありました。

本学では昨年の日銀グランプリの優秀賞受賞論文「先生のための金融教育（小学校編／中高編）」で取り上げられた教員養成における金融教育の実現のために、5 月から金融広報中央委員

会（日本銀行）からの講師を招いての講演会や日本銀行名古屋支店の見学を行い、延べ 300 人以上に金融教育を行うことができました。金融教育を受けた学生が教員になることで、児童・生徒に金融知識が広がることが期待されます。（地域社会システム講座准教授 水野英雄）

給与削減措置にかかわる労使合意調印式(7/13)

7 月 13 日（金）に学長室で、過半数代表者（大学事業所）の藤井啓之教授（学校教育）と松田正久学長との間で、給与削減に係る措置についての労使合意調印式が折出健二総務担当理事の立ち会いのもとで行われました。



給与削減に係る措置について、「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律」における「給与減額支給措置」により、国家公務員の給与減額（平均 7.8%）がこの 4 月から実施（2014 年 3 月末まで）されており、併せて国から各国立大学法人学長に必要な措置を講ずるよう要請されました。このことに松田学長をはじめとする役員は、本学における立場や状況を踏まえ一部準拠という苦渋の選択をせざるを得ない中、法人の自律的・自主的な労使関係において必要な措置を講ずるために過半数

代表者及び教職員組合との協議を重ねてきました。

一方、藤井教授も松田学長の本学経営における取り組みや本学を取り巻く諸事情等を勘案し、法人の自律的・自主的な労使関係の中で、過半数代表者として給与削減措置について妥結合意するとの表明をしました。

ここに労使合意調印式を開催するに至り、互いに合意書に署名捺印をし、硬い握手を交わしました。

本学を取り巻く環境は今後により一層厳しいことが予想され、労使が自律的・自主的な関係の下で諸課題について対応をしていくことが望まれる中、今回の調印は大変意義のあるものであったと思われます。（人事労務課）

お知らせ・報告・投稿

本学修了生の若手陶芸家による作品展(お知らせ)

若手陶芸家 4 人の作品を展示した「やきものの現在～土から成るかたち」が、6 月 16 日（土）から 8 月 5 日（日）まで多治見市のギャラリー・ヴォイスで開催されています。ここに、本学大学院教育学研究科芸術教育専攻の修了生である田中知美さんと山岸大祐さんの作品が展示されています。



田中さんの出展作は、土片を幾重にも重ねて、重量感のある独特の世界を創り出したものです。在学中には濃いグレーの色彩の印象が強かったのですが、今回は白で統一され、白の持つ純粹さとともに何か新しい世界への挑戦も感じられます。

山岸さんの出展作は、白陶のオブジェであるのは大学院時代の時と同じですが、当時の壺をモチーフにした世界をさらに発展させ、幻想的な「容」を創り出しています。筆者は、直観的に、その「容れもの」の精が天をあおいで祈るかのような姿をそこに観ました。（注記：両氏の作品紹介を一部参考にしました。）

（総務担当理事 折出健二）



「教員ができる医療的ケア」ハンドブック&DVD完成(お知らせ)

本学の福田博美准教授をはじめ計6人の研究者による監修で、『教員ができる医療的ケア 最新の法制度改正を受けての知識から手順まで』とその実技を収録したDVD全3巻とハンドブックが完成し、このたび発刊されました。この背景には、2011年12月に、文部科学省から「特別支援学校等における医療的ケアへの今後の対応について」が出され、一定の研修を条件に小中学校でも教員等による医療的ケアが12年4月より可能となったことがあります。

福田准教授によると、この研究成果のポイントは次の点にあります。



1. 平成24年4月からの制度改正に対応しています。法制度改正を受けて、教員ができる医療的ケアが広がりを見せたことを受けて、わかりやすく概要を説明しています。

2. 教員が出来る医療的ケアの技術がわかります。新しく実施出来る気管カニューレからの喀痰吸引、胃ろうからは最近よく用いられる形状調整栄養剤を用いた経管栄養、実技が映っています。

また、従来からの口鼻腔からの喀痰の吸引、経鼻経管栄養、さらには自己導尿の補助を、教員がイメージできるように作成しています。お忙しい方には、ポイントをまとめたショートバージョンも用意しています。

3. 医療的ケアを学校で導入にする時に考えることも入っています。また、単なる技術のDVDではなく、学校で医療的ケアを導入する時に子どものQOL (Quality of Life) を高めるために考えることについてもまとめています。

(総務担当理事 折出健二)

彫刻作品「記憶の中の風景」の展示について(報告)

本学を今春卒業し、現在は愛知県立芸術大学大学院生の飯田夏代さんが卒業制作展に出品した作品が、大学会館ラウンジに今後2年間、展示されます。飯田さんから作品に込めた思いなどの手記が寄せられました。

＊

この作品は家族への感謝を込めてつくりました。卒業制作ということで、この4年間で一番頑張った彫刻を通して、今まで育ててくれた家族に「ありがとう」という気持ちを伝えたいと思ったからです。昔は、厳格な自分の家庭をなかなか受け入れることができず、両親に反抗したりすることもありました。しかし、高校時代に数々の挫折を経験する中で、人の痛みや周りの人たちの優しさに敏感になり、家族への思いも変化していきました。



「何かができなくても、人に優しくできたら、喜ばすことができれば、それだけで生きている価値があるのではないか」と思えた時から、自分自身の内面を見つめるようになって、今まで当たり前前に思っていたことに対して感謝し、周りの人たちの痛みや家族の苦労に気付けるようになりました。大学に入り、家族と離れて暮らすうちに、家族への感謝の気持ちは強くなって、私と家族を繋ぎ止めるように存在していた、幼い頃にたくさん遊んでもらった「記憶の中の風景」が、頭の中で次第に大きくなっていきました。

作品を見てくださった方々から「温かい作品ですね」「丸みがいいですね」という嬉しいお言葉を掛けていただきます。無意識のうちに出来たかたちの丸さは、数々の挫折の中で以前よりも穏やかになっていった私の内面があらわれたのかもしれませんが。人には誰にでも、頑張っても報われないときや、頑張ろうとしても頑張れない時期というのがあるような気がします。しかし困難な状況から逃げず必死に向き合ったとき、たとえ目に見えるかたちで成果があらわれなくても、人として大切なことに気付けるような気がします。

まだまだ発展途上の身ですが、愛知教育大学の卒業生として胸を張って頑張ります。

学長先生をはじめ、宇納一公教授、富山邦夫教授、また展示に際しましてご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(愛知県立芸術大学 美術研究科博士前期課程 彫刻専攻 飯田夏代)

東海国立大学陸上競技大会などの結果(報告)

本学陸上部が7月1日(日)の「第61回東海国立大学陸上競技大会」、7月6日(金)～8日(日)の「第65回西日本学生陸上競技対校選手権大会」に出場。両試合の結果の報告が顧問の筒井清次郎教授(保健体育)から寄せられました。

＊

◆東海国立大学陸上競技大会(三重県営総合競技場・陸上競技場)

- ・男子総合1位、トラック3位、フィールド1位
- ・女子総合1位、トラック1位、フィールド1位
- ・男子最優秀選手 佐脇匠
- ・女子最優秀選手 船坂実来
- ・個人種目優勝者

男子400H 原井川巧、男子棒高跳 安田和弘、男子三段跳 佐脇匠(大会新)、男子砲丸投 松尾卓郎、男子円盤投 平井将人(大会新)

女子200m 船坂実来(大会タイ)、女子100H 藤本彩夏、女子4×400R 前田真里奈、愛敬麻矢、山内萌、船坂実来、女子走高跳 堂ノ下藍、女子走幅跳 大道爽香、女子円盤投 奥山紗英望

＊

◆第65回西日本学生陸上競技対校選手権大会(京都市西京極総合運動公園)

入賞者は次のとおり

- ・男子10000W 6位 戸松弘成
- ・男子走高跳 5位 羽實昂也
- ・男子三段跳 4位 佐脇匠
- ・女子200m 8位 船坂実来
- ・女子3000SC 優勝 花岡紗耶、8位 松本杏美
- ・女子走高跳 3位 相馬由佳
- ・女子4×400R 7位 愛敬麻矢、愛敬世菜、藤本彩夏、船坂実来
- ・その他の成績はHP

<http://gold.jaic.org/icaak/recroom/2012/NISHI/KYOUGI.HTM>

愛知教育大学国語教育公開講座(お知らせ)

国語教育講座では本年も、一昨年、昨年に続き、下記の通り公開講座を行います。ぜひともご参加いただき、有意義なひと時を共有できますよう、ご協力のほどお願いします。

＊

日 時 2012年7月28日(土) 13時～17時

会 場 知立市中央公民館 大会議室(80名定員) 名鉄「知立」から約1km。知立中学校と知立市役所の間にあります。(Tel 0566-83-1165)

参加費 1000円 ※当日、受付にてお支払いください。

申し込み 7月20日(金)までに①氏名(ふりがな)②所属③連絡先住所・電話番号・Eメールアドレスを明記の上、Eメール・郵送いずれかの方法で、下記丹藤博文研究室宛にお申し込みください。定員になり次第受付を終了させていただきます。

スケジュール 13:00 受付開始 13:30 第一部「文法を学ぶことの楽しみ」佐々木敦志(阿久比町・草木小) 塩野谷文雄(愛教大附岡崎中) 矢島正浩(愛知教育大)
15:00 第二部「文学教材を読み深める」加藤多恵子(西尾市・寺津小) 佐藤寿生(名古屋市・日比野中) 丹藤博文(愛知教育大)

司会進行 中田敏夫・有働裕（愛知教育大） 16:50 閉会予定

※閉会后、会場付近にて懇親会を予定しています。こちらも、ぜひご参加ください。

【申し込み・問い合わせ先】

448-8543 刈谷市井ヶ谷町広沢 1

愛知教育大学 国語教育講座 丹藤博文研究室

TEL 0566-26-2223 E-mail h-tandoh@aecc.aichi-edu.ac.jp

催しもの案内

◆混声合唱団 学内演奏会

7月20日（金）12:40～13:10

附属図書館2階 アイ♥スペース

曲目：当日発表

問い合わせ：anmn1-2809.k-sts@softbank.ne.jp（掛布さん）

◆愛知教育大学天文台 第74回一般公開

7月21日（土）18:00～20:30 入場無料、申し込み不要

自然科学棟5階 地学538教室、屋上天文台 雨天時も講座は開催

18:00～19:00 ミニ講座「うるう秒って何？—時刻のひみつ—」

講師：澤武文教授

19:00～20:30 観望会「土星と二重星の観望会」

上映会「3D宇宙の旅」

問い合わせ：理科教育講座天文学研究室 TEL 0566・26・2624

詳細は、天文台ホームページを参照

<http://tenmon.phyas.aichi-edu.ac.jp/>

◆ガラス造形展

7月27日（金）～30日（月）

附属図書館2階 アイ♥スペース

主催：美術教育講座

◆愛知教育大学天文台 第75回子どものための一般公開

7月28日（土）17:00～21:00

自然科学棟5階 屋上天文台 雨天時も講座は開催

17:00～、18:00～天文工作教室「星座早見盤をつくろう！」定員各50人、先着順

19:00～19:30 天文ミニ講座「星座早見盤の使い方」

19:30～21:00 観望会「月の写真にチャレンジ！」

上映会「3D宇宙の旅」

問い合わせ：理科教育講座天文研究室 TEL 0566・26・2624

詳細は、天文台ホームページを参照

<http://tenmon.phyas.aichi-edu.ac.jp/>

◆オープンキャンパス

7月28日（土）29日（日）9:00～16:30

9:00～ 講堂開場

資料配布（12:30～16:00 は第一共通棟、学生サポートセンター）

9:30～10:20 学長あいさつ、クラブ・サークル紹介

10:50～16:30 課程、選修・専攻、コース別説明会

ほかに施設見学、質問コーナーなど

問い合わせ：入試課 TEL 0566・26・2203

編集後記

中野弘幸さんのロンドンオリンピック出場が決まりました。本学では3人目の五輪の日本代表、陸上競技では初、男子学生でも初の快挙です！いつもは飄々（ひょうひょう）として、マイペースを貫く中野さんですが、さすがに発表の3日ほど前から眠れなかったそうです。普段から周囲にさりげない気配りをする中野さんだから、大きな期待を背負ってどんなに苦しきただろう察しています。いよいよ、世界のひのき舞台。思いっきり、走ることを楽しんできてほしいものです。本部棟には懸垂幕も掛け、学内の五輪応援準備も本格化しています。（K）

投稿のお願い

学内外の出来事（教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など）に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール：kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者：総務担当理事 折出 健二